

## 【重要】

## 司法書士試験筆記試験記述式問題の配点の変更について

2024年・2025年合格目標 受講生の皆様へ、令和6年度以降の司法書士筆記試験に関する重要なお案内です。

法務省 Web サイトに、2023年12月4日付で下記内容の発表がありました。

令和6年度以降に実施する司法書士試験筆記試験午後の部の記述式問題の配点を以下のとおり変更するので、あらかじめお知らせします。

なお、午後の部の試験時間(3時間)には変更はありません。

## 【変更内容】

「2問で70点満点」から「2問で140点満点」に変更します。

※法務省 Web サイト [https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05\\_00572.html](https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00572.html)



TAC 司法書士講座では、法務省発表内容にあわせて、答練・模試の成績判定を見直して参ります。2024年合格目標につきましては、ご受講講座により成績判定が異なります。下記のように対応を変更させていただきますので、ご案内いたします。

答練・模試名	択一式の得点(変更なし)	記述式の得点	総合得点
総合力底上げ答練 ※1	35問で105点満点	2問で70点満点	175点満点
科目別全潰し答練 ※2	35問で105点満点	<u>2問で140点満点</u>	<u>245点満点</u>
合格力完成答練	35問で105点満点	<u>2問で140点満点</u>	<u>245点満点</u>
全国実力 Check 模試	午前・午後各35問で210点満点	<u>2問で140点満点</u>	<u>350点満点</u>
全国公開模試 第1～3回	午前・午後各35問で210点満点	<u>2問で140点満点</u>	<u>350点満点</u>

※1 記述式問題の配点変更の発表後に実施される「総合力底上げ答練 第6回」ほか、各「総合力底上げ答練」の期限外答案は、旧配点(記述式2問で70点満点)で成績判定を行います。

※2 「科目別全潰し答練 第1～9回」まで、問題冊子の表紙には旧配点の「多肢択一式が105点満点、記述式が70点満点です。」と記載されておりますが、成績判定は上記の通り変更後の新配点(記述式2問で140点満点)で行います。

(注)2025年合格目標の答練・模試は、全て新配点(記述式2問で140点満点)で成績判定を行います。